

☆ スペイン

化繊設備 Sniace、レーヨン工場を再稼働へ

スペインのレーヨン・製紙メーカーSniaceは、12月4日、同国北部カンタブリア州 Torrelavega のレーヨン S 工場の稼働を再開したことを明らかにした。

Sniace は数年前に業績不振による資金繰り悪化から生産停止に追い込まれていたが、投資会社等からの資金投入もあり、2016年10月に約3年ぶりに同地のパルプ工場の稼働を再開し、その後、レーヨン S 工場の稼働再開を目指していた。

同社の設備能力は、レーヨン S が年産 3.4 万ト、パルプが年産 7.3 万ト、および 330GWh の発電能力を有している。

Sniace によると、今回の再稼働に当たり設備を近代化したことで、製品は高付加価値品、衛材用途が中心であるという。

☆ トルコ

PET SASA、2つのPET工場を新設へ

トルコの手ポリエステルメーカーSASA Polyester Sanayi A.は、ポリエステル工場新設に際して Uhde Inventa-Fischer と契約を交わした。

新設する工場は2棟あり、1棟は、低粘度のPET工場であり、設備能力は年産38万ト、もう1棟は、PET樹脂工場であり、設備能力は年産21.6万ト、同工場では Uhde Inventa-Fischer の独自技術 MTR プロセスが導入される予定。両プラントは、単一製造ラインのプラントとしては世界最大級の規模となる。

MTR プロセスは SSP (固相重縮合) の過程を省略するため、エネルギーの大幅削減が可能となり、資本投資額や運営維持費用の節約につながるほか、製品の歩留まり率が向上、優れた品質を実現できるという。

Uhde Inventa-Fischer は、昨年 SASA と世界最大級のポリエステル繊維製造ラインの建設契約を締結しており、これに続く PET プラントの建設となる。両プロジェクトの契約対象となるのは、基礎設計と詳細設計、全必要部材の引渡し、機材の組み立て、稼働前・稼働中の監督業務の実施など。